

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2015年6週 (2月1週 2/2~2/8)

2015年1月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

## 今週の内容

### ◇トピックス

インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、集団かぜの発生、感染症法の一部改正について

### ◇定点医療機関コメント

インフルエンザ、感染性胃腸炎、溶血性レンサ球菌感染症、マイコプラズマ感染症、咽頭結膜熱等

### ◇全数把握感染症発生状況 ( )内は件数。

結核(39)、レジオネラ症(3)、後天性免疫不全症候群(7)、侵襲性肺炎球菌感染症(2)、水痘(入院例に限る。)(1)、播種性クリプトコックス症(1)

### ◇2015年1月報

### ◇定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

## トピックス

### ◆インフルエンザ(図1) 【1月6日警報発令】

6週目の定点当たり報告数は27.74、5週目8,775人→6週目5,410人(0.62倍)です。2014/2015シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりA型(AH3)及びB型(山形系統)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】2014/15シーズンインフルエンザウイルス分離・検出情報

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri14\\_15.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri14_15.html)

「インフルエンザ警報」を発令します! (1月6日発表)

<http://www.pref.aichi.jp/0000079188.html>

豊田市: インフルエンザ(2月10日更新)

[http://www.city.toyota.aichi.jp/division/as00/as03/1252134\\_17451.html](http://www.city.toyota.aichi.jp/division/as00/as03/1252134_17451.html)

豊橋市: インフルエンザの流行状況(2月9日更新)

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/6893.htm>

名古屋市: インフルエンザ情報(2月5日更新)

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-9-0-0-0-0.html>

岡崎市: インフルエンザ情報ポータルサイト(1月27日更新)

<http://www.city.okazaki.aichi.jp/1100/1107/1146/p015463.html>

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ\\_map\\_new.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html)

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

### ◆A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(図2)

6週目の定点当たり報告数は2.08、5週目377人→6週目378人(1.00倍)です。

【参考ページ】A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a\\_youren.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html)

### ◆集団かぜの発生(健康対策課発表)

発布日	管轄保健所	ネットあいち URL
2月5日	一宮、瀬戸、半田、春日井、江南、新城、衣浦東部	集団かぜの発生について(2014-2015シーズン) <a href="http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/syudankaze2.html">http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/syudankaze2.html</a> <a href="http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/ichiran.pdf">http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/ichiran.pdf</a>
2月6日	衣浦東部	
2月9日	一宮、瀬戸、春日井、豊川、西尾、江南、知多、清須、衣浦東部	
2月10日	一宮、瀬戸、春日井、津島、西尾、江南、衣浦東部	
2月12日	半田、豊川、清須、衣浦東部	

### ◆感染症法(「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」)の一部改正について

主な改正は下表のとおりです。平成27年1月21日から変更されました。

対象感染症	改正点
重症急性呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	名称及び定義の表現の適正化
中東呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	二類感染症に追加
鳥インフルエンザ(H7N9)	検査方法の適正化
デング熱	

【参考ページ】感染症の発生状況

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

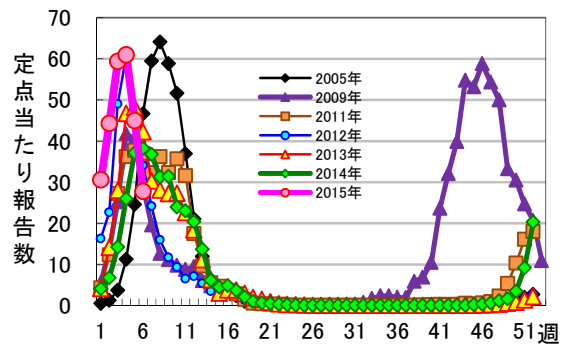


図1 インフルエンザ

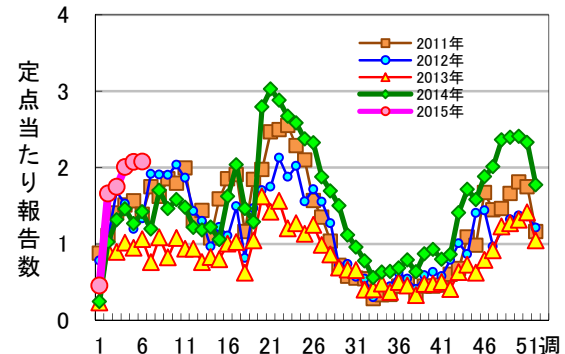


図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## 定点医療機関コメント（名古屋市除く）

### 尾張西部地区

- インフルエンザは減少  
溶連菌感染症が目立ちます。  
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- インフルエンザは減少傾向 全てA型  
【一宮市 後藤小児科医院】
- インフルエンザA型 22名  
【稲沢市 愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院】
- インフルエンザA型18名で先週よりさらに減少  
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
- A型インフルエンザ 61例  
溶連菌感染症続発中  
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- A型インフルエンザ54名、B型インフルエンザ1名  
でした。  
ヒトメタニューモウイルス4名でA群溶連菌  
4名でした。  
【犬山市 武内医院】
- インフルエンザ 50名(すべてA型)  
溶連菌感染症、感染性胃腸炎も多いです。  
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- A型インフルエンザ13名と減少しています。  
【北名古屋市 田中クリニック】
- 31歳男 病原大腸菌O1検出  
インフルエンザはピークを稍越したでしょ  
うか。全てA型です。  
【清須市 丹羽医院】
- インフルエンザA型 34名  
【津島市 医療法人参育会加藤医院】

### 尾張東部地区

- インフルエンザ減少傾向です。(全てA型 7名)  
その他溶連菌感染症、マイコプラズマ感染症等  
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- インフルエンザA型 4名  
【長久手市 医療法人水野内科】
- インフルエンザA型 71名  
水痘も3名  
【豊明市 こども元気クリニック】
- インフルエンザA型は相変わらず多いです。  
成人A型 34名 小児A型 22名  
【春日井市 春日井市民病院】
- インフルエンザやや減少傾向  
小児31名 成人43名 すべてA型です。  
【小牧市 小牧市民病院】
- インフルエンザA 減少傾向  
溶連菌感染は続いています。  
RS感染症は3例  
ノロウイルス感染もみられます。  
【小牧市 志水こどもクリニック】
- インフルエンザA型 男14名 女11名  
インフルエンザA型が多いです。  
相変わらず感染性胃腸炎も多いです。  
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
- インフルA型 26例と減少  
胃腸炎続発  
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- インフルエンザA 19名  
【半田市 医療法人林医院】
- インフルエンザA型 28名  
【南知多町 医療法人大岩医院】
- インフルエンザA型 17名  
10歳女 アデノウイルス(+)  
5歳女 アデノウイルス(+)  
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- インフルエンザB型 1名 A型 26名  
【東海市 こいで内科医院】
- インフルエンザ減っています。(すべてA型)  
【東海市 もしもしこどもクリニック】

## 西三河地区

- インフルエンザA 20名  
臨床診断にてインフルエンザ 1歳女 8歳女  
StrepA(+) 3名  
アデノウイルス(+) 3歳男  
E. coli(O25) 3歳女  
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- インフルエンザA型 15名  
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
- インフルエンザA型 34名  
インフルエンザB型 1名  
【豊田市 愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院】
- インフルエンザA型 55名 B型 1名  
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- インフルエンザ 47例(A型全例)  
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- インフルエンザA型 15名  
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
- インフルエンザA型 24人  
6歳女 サルモネラO8  
8か月男 病原大腸菌O18(+)  
VT(-)  
【岡崎市 にいのみ小児科】
- インフルエンザ 合計10名 全てA型  
【岡崎市 栗屋医院】
- インフルエンザ 73名 全てA型  
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】
- インフルエンザウイルス感染症減少傾向  
です。1例のみB型です。  
その他、感染性腸炎が増加傾向です。  
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
- A型インフルエンザ 3件  
【安城市 医療法人鳥居医院】
- インフルエンザA 61名  
インフルエンザB 15名  
【知立市 宮谷クリニック】
- インフルエンザ減少傾向  
手足口病散発  
【碧南市 永井小児クリニック】
- インフルエンザA型 33名  
【西尾市 西尾市民病院】
- インフルエンザは全てA型56名、前週と比べて横ばいの状態です。  
【西尾市 山岸クリニック】
- インフルエンザは全例A型でした。  
【幸田町 とみた小児科】

## 東三河地区

- インフルエンザA型 56名  
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】
- 11歳女 カンピロバクター腸炎  
インフルエンザA型流行中  
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- インフルエンザA型 18名  
【豊橋市 おだかの医院】
- 7歳女 マイコプラズマ肺炎  
【豊橋市 マミーローズクリニック】
- インフルエンザA型20名でした。  
【豊橋市 医療法人山本内科】
- インフルエンザA型 19名  
【豊橋市 医療法人杉浦内科】
- インフルエンザA型 41名  
【豊川市 豊川市民病院】
- インフルエンザA型 33名  
前週の3分の1以下に患者数減少  
【豊川市 ささき小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2015年2月12日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun150121.pdf>

● 結核（二類感染症）

報告保健所	2015年6週報告数			2015年総計(1～6週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	20	6	1	66	18	17
豊田市	3	1		7	2	1
豊橋市	2			11	2	5
岡崎市	1			4	1	
一宮	1	1		14	4	4
瀬戸	3		1	15	2	7
半田				2	2	
春日井	3	1		7	3	
豊川	1	1		2	1	
津島				11	2	4
西尾	2	1		5	2	
江南				5	1	1
新城						
知多				3		
清須				4	2	2
衣浦東部	3	2		7	3	2
合計	39	13	2	163	45	43

**四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）**

● レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	87歳	男	肺炎型	国内
2	岡崎市	93歳	女	肺炎型	国内
3	岡崎市	90歳	女	肺炎型	国内

● 後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	54歳	男	AIDS	性的接触	国内
2	名古屋市	27歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
3	名古屋市	55歳	男	AIDS	性的接触	国内
4	名古屋市	25歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
5	名古屋市	19歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
6	名古屋市	55歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
7	名古屋市	69歳	男	無症候性キャリア	不明	不明

● 侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	知多	83歳	男	無	国内
2	衣浦東部	48歳	男	無	国内

● 水痘（入院例に限る。）（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	16歳	男	不明	国内

● 播種性クリプトコックス症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染原因・感染経路	推定感染地域
1	一宮	80歳	女	不明	国内

## 2015年1月報

(2015年2月12日現在、診断週に基づく集計)

## 1月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔( )は無症状病原体保有者再掲。〕

2013～2015年に報告のあった 疾病名及び病型 ( )内は全数把握対象疾病数	2015年1月			2014年	2013年
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	総計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7) 発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7) 結核	77 (24)	43 (13)	120 (37)	1,866 (531)	1,915 (468)
三類 (5) コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (0)	16 (2)
腸管出血性大腸菌感染症	0 (0)	0 (0)	0 (0)	132 (30)	211 (58)
腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)
パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (0)
四類 (43) E型肝炎	0	0	0	1	2
A型肝炎	0	0	0	8	4
チクングニア熱	0	0	0	0	1
つつが虫病	0	0	0	2	4
デング熱	3	0	3	11	14
マラリア	0	0	0	1	8
レジオネラ症	8	1	9	61	64
五類 (22) アメーバ赤痢	3	3	6	68	62
ウイルス性肝炎	0	0	0	13	16
内訳 B型	0	0	0	12	7
内訳 その他	0	0	0	1	9
カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症*	1	4	5	19	-
急性脳炎	2	3	5	18	25
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	1	11	10
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	0	2	18	8
後天性免疫不全症候群	1	10	11	98	99
内訳 無症候性キャリア	1	7	8	65	64
内訳 AIDS	0	3	3	32	33
内訳 その他	0	0	0	1	2
ジアルジア症	0	0	0	2	2
侵襲性インフルエンザ菌感染症**	1	0	1	16	13
侵襲性髄膜炎菌感染症**	0	0	0	2	0
侵襲性肺炎球菌感染症**	15	8	23	122	76
水痘(入院例に限る。)*	0	1	1	10	-
先天性風しん症候群	0	0	0	0	2
梅毒	2	3	5	113	54
内訳 無症候	1	2	3	50	25
内訳 早期顕症	1	1	2	57	24
内訳 晚期顕症	0	0	0	6	5
播種性クリプトコックス症*	1	1	2	2	-
破傷風	0	0	0	4	5
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1	6
風しん	0	0	0	21	375
麻しん	0	0	0	46	25
総計	117	77	194	2,680	3,022

\* 2014年9月19日から、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」及び「播種性クリプトコックス症」が五類感染症(全数把握対象疾患)に追加されました。また、五類感染症の「水痘(入院例に限る。)」及び「薬剤耐性アシネトバクター感染症」が全数把握対象疾患となりました。なお、五類感染症(定点)の「水痘」は、引続き小児科定点把握対象疾患です。

\*\* 2013年4月1日から、五類感染症(全数把握対象疾患)に①「侵襲性インフルエンザ菌感染症」及び②「侵襲性肺炎球菌感染症」が追加されました。なお、この2疾患(①②)を除く細菌性髄膜炎については引続き基幹定点把握対象疾患です。同じく五類感染症の「髄膜炎菌性髄膜炎」が「侵襲性髄膜炎菌感染症」に変更されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2015年1月			2014年 総計		2013年 総計		
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体 合計		愛知県全体 合計		
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	33	40	73	900	1,591	960	1,688
		女	29	16	45	691		728	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	9	8	17	169	643	235	685
		女	24	21	45	474		450	
	尖圭コンジローマ	男	6	7	13	220	347	226	379
		女	6	2	8	127		153	
淋菌感染症	男	14	28	42	577	657	620	707	
	女	5	2	7	80		87		
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		64	7	71	1,089		1,212	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		13	0	13	59		84	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	4		9	
	薬剤耐性アシネトバクター感染症※		—	—	—	0		0	

※2014年9月19日から全数把握に変更

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2015年1月			2014年 総計		2013年 総計	
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体	
エキノコックス症の犬	0	0	0	1		0	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2015年1月21日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症* (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起しうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (43疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症** (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

\* 2015年1月21日に「中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)」及び「鳥インフルエンザ(H7N9)」が二類感染症に追加されました。

\*\* 2014年9月19日に「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」及び「播種性クリプトコックス症」が五類感染症に追加されました。





